

[3] 母校だより

(1) 京都大学地球系教室及び関係教室の近況

(a) 社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻・土木工学コースの近況報告

社会基盤工学専攻専攻長、土木工学コース長 高橋良和

令和4年度の社会基盤工学専攻の専攻長を仰せつかっております。平成6年学部卒、平成8年修士課程修了の高橋良和と申します。本年度は、工学部地球工学科土木工学コースのコース長も担当させていただいております（なお、令和4年度の都市社会工学専攻の専攻長は、資源系の小池克明教授）。



学部および大学院の土木系教室の近況を報告させていただきます。はじめに、表1に示しますように、土木系教員の在籍状況について説明いたします。土木系の研究室は、工学研究科社会基盤工学専攻に20研究室、都市社会工学専攻に17研究室、学術情報メディアセンターに1研究室、地球環境学堂に1研究室、情報学研究科に3研究室、計42研究室、99名の教員から構成されています。さらに特定教員、特任教員やJSPS特別研究員も含めると、たいへん大きな組織となっております。

表2は、令和3年6月から4年5月までの人事異動をまとめたものです。戸田圭一教授と田中茂信教授が、令和4年3月末日で定年退職を迎えられました。岡本隆明助教が名城大学理工学部准教授に、横松宗太准教授がオーストリアにある国際応用システム分析研究所（IIASA）上席研究員に、澤田茉伊助教が東京工業大学准教授に、それぞれ異動されました。ご在任中に賜りましたご厚情とご指導に対しまして、心より御礼を申し上げますとともに、ご退職やご異動後の末永いご多幸をお祈り申し上げます。新規採用につきましては、太田直之特定教授、小柴孝太助教、奥出信博特定助教、小椋紀彦特定助教、谷川陸助教、加藤智大助教、岩井裕正准教授、TINUMBANG Aulia Febianda Anwar助教、山田真史助教、Zhu Fan准教授、Amin Chabchoub特定准教授が着任されました。また、上田恭平准教授、市川温教授、田中賢治教授、竹之内健介特定准教授が昇任されました。市川温教授は、令和4年4月1日付けで、本学大学

表1 土木系講座・分野の教員の在籍状況（令和4年5月31日現在）

社会基盤工学専攻

講座名	分野名	教授	准教授/講師	助教
	応用力学		西藤 潤 KHAYYER, Abbas	田中 智大
構造工学	構造材料学	山本 貴士		高谷 哲
	構造力学		北根 安雄	五井 良直
	橋梁工学	八木 知己		野口 恭平
	構造ダイナミクス	高橋 良和		植村 佳大
	国際環境基盤マネジメント		金 善攻 張 凱淳(講師)	
水工学	水理環境ダイナミクス		山上 路生	
	水文・水資源学	立川 康人	萬 和明(講師)	田中 智大
地盤工学	地盤力学	木村 亮		木戸 隆之祐
	社会基盤創造工学	金 哲佑		
空間情報学		須崎 純一	大庭 哲治	木村 優介
都市基盤設計学	景観設計学	川崎 雅史	山口 敬太	谷川 陸
	沿岸都市設計学	後藤 仁志	原田 英治	五十里 洋行 清水 裕真

## 都市社会工学専攻

講座名	分野名	教授	准教授/講師	助教
構造物マネジメント工学		杉浦 邦征	安 琳	
地震ライフライン工学		清野 純史	古川 愛子	
河川流域マネジメント工学		市川 温	音田 慎一郎	TINUMBANG Aulia Febianda Anwar
ジオマネジメント工学	土木施工システム工学	肥後 陽介	PIPATPONGSA, Thirapong	北岡 貴文
	ジオフロントシステム工学	三村 衛	岩井 裕正	
	国際都市開発		QURESHI, Ali Gul Zhu Fan	
都市社会計画学	計画マネジメント論		松島 格也	小谷 仁務
	都市地域計画	宇野 伸宏	松中 亮治	田中 皓介
都市基盤システム工学		岸田 潔	澤村 康生	宮崎 祐輔
交通マネジメント工学	交通情報工学	山田 忠史	SCHMOECKER, Jan Dirk	中尾 聡史
	交通行動システム	藤井 聡		川端 祐一郎

## 社会基盤工学専攻協力講座（防災研究所）

講座名	分野名	教授	准教授/講師	助教
防災工学	砂防工学	藤田 正治	竹林 洋史 宮田 秀介	
	防災水工学	川池 健司		山野井 一輝 小柴 孝太
	地盤防災工学	渦岡 良介	上田 恭平	
	水文気象工学	中北 英一	山口 弘誠	小坂田 ゆかり
	海岸防災工学	森 信人	志村 智也	宮下 卓也
	防災技術政策		佐山 敬洋 LAHOURNAT, Florence (講師)	
	水際地盤学	平石 哲也	馬場 康之	

## 社会基盤工学専攻協力講座（学術情報メディアセンター）

講座名	分野名	教授	准教授/講師	助教
計算工学		牛島 省		鳥生 大祐

## 都市社会工学専攻協力講座（防災研究所）

講座名	分野名	教授	准教授/講師	助教
都市国土管理工学	耐震基礎	澤田 純男	後藤 浩之	
	地域水環境システム	田中 賢治		
	水文循環工学	堀 智晴		山田 真史
	災害リスクマネジメント	CRUZ, Ana Maria		
	自然・社会環境防災計画学	角 哲也	竹門 康弘 KANTOUSH, Sameh Ahmed	
	都市耐水	五十嵐 晃	米山 望	

都市社会工学専攻協力講座（地球環境学堂 地球親和技術学廊）

講座名	分野名	教授	准教授/講師	助教
	社会基盤親和技術論	勝見 武	高井 敦史	加藤 智大

情報学専攻（防災研究所）

講座名	分野名	教授	准教授/講師	助教
社会防災	防災社会システム	多々納 裕一	SAMADDAR, Subhajyoti 藤見 俊夫	
巨大災害	巨大災害過程	矢守 克也	大西 正光	中野 元太
	災害情報システム	畑山 満則	廣井 慧	

表2 土木系教員人事異動（令和3年7月1日以降）

●退職

社会基盤工学専攻

R4.3.31

戸田 圭一 教授（水工学講座水理環境ダイナミクス分野（経営管理部））  
⇒ 停年退職  
杉山 友康 特定教授（災害リスクマネジメント工学（寄附講座）（JR西日本））  
岡本 隆明 助教（水工学講座水理環境ダイナミクス分野）  
⇒ 名城大学理工学部准教授へ

都市社会工学専攻

R4.3.31

田中 茂信 教授（都市国土管理工学講座（防災研）地域水環境システム分野）  
⇒ 停年退職  
横松 宗太 准教授（都市国土管理工学講座（防災研）災害リスクマネジメント分野）  
⇒ 国際応用システム分析研究所上席研究員へ  
澤田 茉伊 助教（ジオマネジメント工学講座 ジオフロントシステム工学分野）  
⇒ 東京工業大学准教授へ

●採用

社会基盤工学専攻

R4.4.1

太田 直之 特定教授（災害リスクマネジメント（JR西日本）（寄附講座））  
⇒ 鉄道総合技術研究所防災技術研究部長より  
小柴 孝太 助教（防災水工学分野（防災研））  
⇒ 都市社会工学専攻自然・社会環境防災計画学特任助教より

R4.4.1

奥出 信博 特定助教（インフラ先端技術産学共同講座）  
⇒ 東海技術センター営業開発事業部部門長より  
小椋 紀彦 特定助教（インフラ先端技術産学共同講座）  
⇒（株）CORE技術研究所技術部より

R4.5.1

谷川 陸 助教（都市基盤設計学講座 景観設計学分野）  
⇒ 京都大学工学研究科社会基盤工学専攻 博士課程より

都市社会工学専攻

R3.10.1

加藤 智大 助教（地球環境学堂 地球親和技術学廊 社会基盤親和技術論分野）  
⇒ 京都大学地球環境学舎地球環境学専攻博士後期課程より

R4.4.1

岩井 裕正 准教授（ジオマネジメント工学講座ジオフロントシステム工学分野）  
⇒ 名古屋工業大学 助教より  
TINUMBANG Aulia Febianda Anwar 助教（河川流域マネジメント工学講座）  
⇒ 京都大学大学院工学研究科博士後期課程より

R4.5.1

山田 真史 助教（水文循環工学分野（防災研））  
⇒ 社会基盤工学専攻防災技術政策分野日本学術振興会特別研究員（PD）より  
Zhu Fan 准教授（ジオマネジメント工学講座 国際都市開発分野）  
⇒ 香港科技大学 ポスドク研究員より

防災研究所

R3.7.1

Amin Chabchoub 特定准教授（白眉センター，防災研究所気象・水象災害研究部門沿岸災害研究分野）  
⇒ シドニー大学土木工学研究科准教授より

## ●昇任

## 社会基盤工学専攻

R4.4.1

上田 恭平 准教授 (地盤防災工学分野(防災研))  
同分野助教より

## 都市社会工学専攻

R4.1.1

市川 温 教授 (河川流域マネジメント工学講座)  
社会基盤工学専攻 水工学講座 水文・水資源学分野 准教授より

R4.4.1

田中 賢治 教授 (都市国土管理工学講座(防災研)地域水環境システム分野)  
同分野准教授より

## 防災研究所

H30.10.1

竹之内 健介 特定准教授 (気象水文リスク情報寄附研究部門・日本気象協会)  
同分野特定助教より

## ●配置換え

## 社会基盤工学専攻

R4.4.1

川崎 雅史 教授 (地球環境学堂(ダブルアポイントメント))  
⇒社会基盤工学専攻都市基盤設計学講座景観設計学分野より  
須崎 純一 教授 (空間情報学講座)  
⇒都市社会工学専攻都市社会計画学講座計画マネジメント論分野より  
山口 敬太 准教授 (地球環境学堂(ダブルアポイントメント))  
⇒社会基盤工学専攻都市基盤設計学講座景観設計学分野より  
大庭 哲治 准教授 (空間情報学講座)  
⇒都市社会工学専攻都市社会計画学講座都市地域計画分野より  
原田 英治 准教授 (都市基盤設計学講座沿岸都市設計学分野)  
⇒地球環境学堂(ダブルアポイントメント)より  
高谷 哲 助教 (構造工学講座構造材料学分野)  
⇒都市社会工学専攻構造物マネジメント工学講座より  
田中 智大 助教 (水工学講座水文・水資源学分野)  
⇒地球環境学堂(ダブルアポイントメント)より

## 都市社会工学専攻

R4.4.1

市川 温 教授 (経営管理研究部(ダブルアポイントメント))  
⇒都市社会工学専攻河川流域マネジメント工学講座より  
宇野 伸宏 教授 (都市社会計画学講座都市地域計画分野)  
⇒社会基盤工学専攻空間情報学講座より

## 都市社会工学専攻

R4.4.1

杉浦 邦征 教授 (構造物マネジメント工学講座)  
⇒地球環境学堂(ダブルアポイントメント)より  
安 琳 准教授 (構造物マネジメント工学講座)  
⇒社会基盤工学専攻構造工学講座構造ダイナミクス分野より  
小谷 仁務 助教 (地球環境学堂(ダブルアポイントメント))  
⇒都市社会工学専攻都市社会計画学講座計画マネジメント論分野より

院経営管理研究部 (経営管理大学院) に配置換えとなっております。

つぎに、土木系学生の就職状況について報告いたします。令和2年度と3年度の就職先人数を、分野別に示したものが表3です。令和3年度も、引き続きコロナ禍での就職活動となりました。令和2年度と比較すると、内閣・各府省、鉄道・航空、コンサルタント・設計等に減少傾向が、それぞれ見られますが、建設は大きく増加しました。今後も、学生の就職活動におきまして、京土会ならびに卒業生の皆様にご協力をお願いすることもあろうかと存じますが、その節には、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

学部・大学院の講義については、今年度より、ほぼ全ての講義が対面講義へと復帰しております。学内にも学生の数が増え、活気が戻ってきました。今年度3回生の学生は、

入学後初めての本格的対面講義となり、直接顔を合わすことが初めての学生も多い状態でした。そこで3回生、4回生ガイダンスでは集合写真を撮影するため対面での参加を呼びかけたところ、ほとんどの学生がガイダンスに参加しました。マスクを外した同級生の顔をはじめ学生も多く、嬉しそうにしていました。今後も心のケアにも気を配りつつ、できるだけコロナ禍以前と同じレベルの教育・研究ができるように努めております。

続いて、工学部地球工学科国際コースの状況について報告いたします。なお、本年度の国際コース長は、須崎純一教授が担当されております。国際コースは、平成23年度に1期生が入学して以来、10年以上経過しました。これまで、留学生106名、日本人83名の計189名の学生を受け入れました。入試の開催や学生の来日が難しい状況の中、創意

表3 土木系学生の就職状況 (R4年3月卒業・修了, 赤字は女性)

就職先	学部	修士	博士	合計
内閣・各府省		6		5(-3)
独立行政法人・団体		5(1)		5(+1)
学校		1	1	2(+2)
地方庁		1		1(+0)
道路		8(1)		6(+1)
電気・ガス・水道		9		9(-2)
鉄道・航空		7(1)		7(-3)
建設	4(1)	20(1)		24(+9)
鉄鋼・鉄構・機械・プラント・石油・造船		5		5(-4)
コンサルタント・設計		17(3)		17(-6)
情報通信・電機・電子・システム		10		10(-1)
商社・銀行	2	5(1)		7(+1)
不動産		3		3(+0)
サービス業・その他	1	10(1)		11(+4)
<b>合計</b>	<b>7(1)</b>	<b>106(9)</b>	<b>1</b>	<b>114(-1)</b>

工夫のうえ、本年度も、中国、タイ、シンガポールから9名の留学生を迎え入れております。ただ、従前に比べ、出身国の多様性が失われつつあることは否めません。国内外の留学生フェアにも積極的に参加し、国際コースのアピールを続けていますが、京都大学では全学のプロジェクトとしてKyoto iUPという1, 2回生は英語で、3回生以上を日本語で教育するプログラムが始まっており、Kyoto iUPとの差別化に苦慮しているところでもあります。卒業まで英語で教育される国際コースの魅力をアピールするためにも、昨年度VR技術を用いたプロモーション動画を撮影、京都大学公式YouTubeから配信しています。是非、ご参考、ご活用いただければ幸いです。また、学生を国内外の現場にてお受け入れていただくこと、特に海外に学生を送り出すことは極めて難しい状況が続いております。土木系講義でも学外実習

が中止をせざるを得ない状況下で、国際インターンシップも中止しておりましたが、ポストコロナもにらみ、今年度は国際インターンシップも再開させ、現在、17名の国際コース学生が11の企業に受け入れていただき、国内の現場での英語でのインターンシップを実施できる見込みです。

土木系教室の取り組みにおいて、ならびに、学部や大学院の平素の教育・研究や、それらがコロナ禍の難局を乗り越えることにおいて、京土会ならびに卒業生の皆様に、多大で多様なご助力とご指導をお願い申し上げることもあろうかと存じます。これまでのご協力とご貢献に対しまして、重ねて御礼申し上げますとともに、今後とも引き続き、土木系教室の教育・研究活動にご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## (b) 都市環境工学専攻の近況報告

都市環境工学専攻長 藤原 拓

都市環境工学専攻の近況について報告させていただきます。本年度、都市環境工学専攻の専攻長を仰せつかっております平成6年衛生工学科卒の藤原拓と申します。よろしくお願いたします。



恒例によりまして、人事異動についてご報告申し上げます。まず、退職・転出としましては、令和3年9月30日付けにて、環境衛生学講座の上田佳代准教授が、北海道大学大学院医学研究院教授へ、附属流域圏総合環境質研究センター環境質予見分野の井原賢特定助教が、高知大学教育研究部

准教授へ、それぞれ転出されました。令和4年3月31日付けにて、附属流域圏総合環境質研究センター環境質予見分野の中田典秀講師が神奈川大学工学部准教授へ転出されました。また、令和3年7月1日付で採用された同センター環境質予見分野の趙博 (ZHAO, Bo) 特定助教が令和4年4月30日付けにて、河海大学環境学院准教授へ転出されています。

採用では、令和3年8月1日付けにて、東京大学より野村洋平先生が環境システム工学講座水環境工学分野助教へ採用されています。また、産学共同講座(脱炭素工学研究講座)の設置にともない、令和4年4月1日付けにて、日立造船(株)より原田浩希先生が特定准教授として、工学研究科特定研究員であったOLESZEK, Sylwia Izabela先生が特定助教として、それぞれ採用されています。

昇任では、令和4年4月1日に、物質環境工学講座環境保全工学分野助教であった矢野順也先生が准教授に昇任されています。

これらの人事異動によりまして、現在の都市環境工学専攻関連の教員一覧は表1のようになっております。15の研究室から構成されており、桂キャンパスの7研究室、大津市の流域圏総合環境質研究センターの2研究室、吉田キャンパス内の環境安全保健機構の2研究室、大阪府熊取町に位置する複合原子力科学研究所内の2研究室が都市環境工学専攻を構成しております。加えて、吉田キャンパス内の地球環境学堂に所属しております環境調和型産業論分野およびエネルギー科学研究科のエネルギー環境学分野を合わせ、15研

表1 都市環境工学専攻関連教員一覧

大学院	専攻	講座名	分野名	教授	准教授	講師	助教*
工学研究科	都市環境工学	環境デザイン工学(桂)		高岡 昌輝	大下 和徹		日下部武敏
		環境衛生学(桂)**		高野 裕久			本田 晶子 石川 良實
		環境システム工学(桂)	水環境工学	藤原 拓		日高 平	野村 洋平
			環境リスク工学	米田 稔	島田 洋子		五味 良太
			大気・熱環境工学		藤森 真一郎		大城 賢
			都市衛生工学	伊藤 禎彦			中西 智宏
		物質環境工学	環境質管理(流環)	清水 芳久	松田 知成		
			環境質予見(流環)		西村 文武		竹内 悠
			環境保全工学(環科)	平井 康宏	矢野 順也		
			安全衛生工学(環科)	橋本 訓 松井 康人			
放射能環境動態(原実)			藤川 陽子				
放射性廃棄物管理(原実)			福谷 哲		池上麻衣子 芝原 雄司		
脱炭素工学研究(桂)		高岡 昌輝 (兼任)	原田 浩希		Oleszek Sylwia		
地球環境学大学院	地球親和技術学廊		環境調和型産業論(吉田)	越後 信哉	田中 周平		
エネルギー科学研究科	エネルギー社会・環境科学	エネルギー社会環境学	エネルギー環境学(吉田)	亀田 貴之			山本 浩平

\* : 特定助教を含む、\*\* : 地球環境学堂との兼任



### 中国・清華大学深圳国際研究生院との修士課程のダブルディグリー(DD)を2022年4月から開始しました！



- 本学のみでの学修では得られない、深センをフィールドとした環境問題の工学的な解決にリーダーシップを発揮する学際的人材を育成。将来的にアジア圏での活躍に期待
- 3年間で京都大学修士(工学)と清華大学のMaster of Engineering (Resources and Environmental Engineering)を取得。10単位をお互い認定。
- 中国・深圳で1年間の滞在(Kyoto University On-site Laboratory:京都大学-清華大学環境技術共同研究・教育センターがあり、特定助教及び事務補佐員が常駐)。
- 授業や先方でのコミュニケーションは基本的に英語で実施されます。
- 中国国籍以外の学生が対象。

1年次												2年次												3年次															
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
京大(前期) (18)				清華大(前期) (17)				研究				清華大(後期) (5)				研究				研究				京大(後期) (2)				研究・学位論文執筆				清華大 審査				京大 審査			



( )内は要取得単位数  
 研究は春季休暇、夏季休暇を含みます。  
 清華大学は、中国でトップクラスの優秀な研究・教育実績を有し、伝統ある大学  
 Times Higher Education 20位@2021  
 QS World University Rankings 15位@2021

図1 中国・清華大学深圳国際研究生院との修士課程のダブルディグリープログラム

研究室、34名の教員で活動しております。これらの研究室は京土会の皆さまのご支援を賜り、順調に発展してまいりました。ここに改めて感謝申し上げますとともに、今後も引き続きのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

つぎに、当専攻の近況を報告申し上げます。中国・清華大学深圳国際研究生院との修士課程のダブルディグリーを2022年4月から開始しております(図1)。本学のみでの学修では得られない、深圳をフィールドとした環境問題の工学的な解決にリーダーシップを発揮する学際的人材の育成を目的とし、修了生が将来的にアジア圏で活躍することを期待しております。3年間で京都大学修士(工学)と清華大学のMaster of Engineering (Resources and Environmental Engineering)を取得できるプログラムであり、3年間の学修期間のうち中国・深圳で1年間滞ります。なお、授業や先方でのコミュニケーションは基本的に英語で実施され、中国国籍以外の学生が対象です。

また、産学共同講座「脱炭素工学研究」を2022年4月に開設しております。京都大学桂キャンパス内に、京都大学大学院工学研究科の高岡昌輝教授をはじめとする研究グループと日立造船による産学共同講座「脱炭素工学研究」を2022年4月～2025年3月の3か年にわたり設置し、廃棄物・資源循環分野におけるカーボンニュートラルに向けた技術開発を共同で実施するものです。本講座では、廃棄物・資源循環分野での温室効果ガスの実質排出ゼロを目指し、既存の廃棄物の熱化学変換プロセスを見直し、エネルギー・

就職した卒業・修了生：38名  
 公務員：国土交通省(2)、環境省、富山県  
 民間：  
 finetrack, McKinsey & Company, Ministry of Infrastructure and Sustainable Energy, Republic of Kiribati, NTTドコモ, PwCコンサルティング合同会社, あずさ監査法人, アドバンテック, ウェスタンデジタル合同会社, オルガノ, 関西電力, クリアウォーターOSAKA(2), コスモエ機, ソニーグループ, タクマ, トンダオ・リエピン・グループ(同道獵聘集団)(中国), 日本気象協会, 日本工営, パンダイナムコ, 三菱商事, 村田製作所, メタウォーター, 月島機械, 三井化学, 三菱UFJ国際投信, 鹿島建設, 水ing, 東京建物, 東京電力, 日本アイ・ビー・エム デジタルサービス, 日本ウィルテックソリューション, 日本コントロールシステム, 日本たばこ産業, 日立製作所

図2 令和3年度卒業・修了生の進路

資源への飛躍的な変換及び回収・循環を目指した技術開発を進め、社会に実装することを目指しております。

最後に就職状況についてご報告申し上げます。昨年度卒業、修了生は38名でした。国土交通省2名、環境省1名、地方公務員1名以下、図2に示す就職先となっております。環境産業とは異なる分野への就職も増えており、就職先が多様化しているように思われます。令和4年度の卒業・修了予定者の就職につきましては順調に進捗しておりますが、引き続きご高配を賜りますよう、何卒よろしく願いいたします。

以上、都市環境工学専攻の近況を簡単にご報告させていただきました。引き続き、ご鞭撻ならびにご支援いただければ幸いです。

## (2) 人事異動 (令和3年11月～令和4年10月)

社会基盤工学専攻		
[辞職 (R3.12.31)]		
MEEMA, Thatkiat	特定研究員	水文学講座水文・水資源学分野
[定年退職 (R4.3.31)]		
戸田 圭一	教授	水工学講座水理環境ダイナミクス分野
[辞職 (R4.3.31)]		
岡本 隆明	助教	水工学講座水理環境ダイナミクス分野 (名城大学准教授へ)
杉山 友康	特定教授	災害リスクマネジメント工学講座 (JR西日本) (寄附講座)
[昇任 (R4.4.1)]		
上田 恭平	准教授	防災工学講座地盤防災工学分野 (同分野助教より)
[採用 (R4.4.1)]		
小柴 孝太	助教	防災工学講座防災水工学分野 (都市社会工学専攻自然・社会環境防災計画学特任助教より)
TINUMBANG Aulia Febianda Anwar	助教	河川流域マネジメント工学講座 (京都大学大学院工学研究科博士後期課程より)
太田 直之	特定教授	災害リスクマネジメント工学講座 (JR西日本) (寄附講座) (鉄道総合技術研究防災技術研究部長より)
奥出 信博	特定助教	インフラ先端技術産学共同講座 (東海技術センター営業開発事業部部門長より)
小椋 紀彦	特定助教	インフラ先端技術産学共同講座 (株CORE技術研究所技術部より)
[配置換 (R4.4.1)]		
川崎 雅史	教授	地球環境学堂 (都市基盤設計学講座景観設計学分野より)
山口 敬太	准教授	地球環境学堂 (都市基盤設計学講座景観設計学分野より)
原田 英治	准教授	都市基盤設計学講座沿岸都市設計学分野 (地球環境学堂より)
田中 智大	助教	水工学講座水文・水資源学分野 (地球環境学堂より)
須崎 純一	教授	空間情報学講座 (都市社会計画学講座計画マネジメント論分野より)
大庭 哲治	准教授	空間情報学講座 (都市社会計画学講座都市地域計画分野より)
高谷 哲	助教	構造工学講座構造物材料学分野 (構造物マネジメント工学講座より)
[採用 (R4.5.1)]		
谷川 陸	助教	都市基盤設計学講座景観設計学分野 (社会基盤工学専攻博士後期課程より)
[採用 (R4.10.1)]		
松宮 央登	准教授	構造工学講座橋梁工学分野 (一般財団法人電力中央研究所サステナブルシステム研究本部・気象流体科学研究部門主任研究員より)
金平 大河	特定研究員	防災工学講座沿岸災害研究分野
都市社会工学専攻		
[採用 (R4.1.1)]		
市川 温	教授	河川流域マネジメント工学講座 (水文学講座水文・水資源学分野准教授より)
[定年退職 (R4.3.31)]		
田中 茂信	教授	都市国土管理工学講座地域水環境システム分野
[辞職 (R4.3.31)]		
横松 宗太	准教授	都市国土管理工学講座災害リスクマネジメント分野 (国際応用システム分析研究所上席研究員へ)
澤田 茉伊	助教	ジオマネジメント工学講座ジオフロントシステム工学分野 (東京工業大学准教授へ)
[昇任 (R4.4.1)]		
田中 賢治	教授	都市国土管理工学講座地域水環境システム分野 (同分野准教授より)
[採用 (R4.4.1)]		
岩井 裕正	准教授	ジオマネジメント工学講座ジオフロントシステム工学分野 (名古屋工業大学助教より)
山田 真史	助教	都市国土管理工学水文循環工学分野 (社会基盤工学専攻防災技術政策分野日本学術振興会特別研究員 (PD) より)
[配置換 (R4.4.1)]		
杉浦 邦征	教授	構造物マネジメント工学講座 (地球環境学堂より)
市川 温	教授	経営管理研究部 (河川流域マネジメント工学講座より)

[3] 母校だより

小谷 仁務	助教	地球環境学堂（都市社会計画学講座計画マネジメント論分野より）
宇野 伸宏	教授	都市社会計画学講座都市地域計画分野（空間情報学講座より）
安 琳	准教授	構造物マネジメント工学講座（構造工学講座構造ダイナミクス分野より）
<b>[採用 (R4.5.1)]</b>		
Zhu Fan	准教授	ジオマネジメント工学講座国際都市開発分野（香港科技大学ポスドク研究員より）
<b>[昇任 (R4.9.1)]</b>		
川端祐一郎	准教授	交通マネジメント工学講座交通行動システム分野（同分野助教より）
<b>[配置換え (R4.10.1)]</b>		
宮崎 祐輔	助教	ジオマネジメント工学講座ジオフロントシステム工学分野（都市基盤システム工学講座助教より）
<b>都市環境工学専攻</b>		
<b>[採用 (R3.11.16)]</b>		
二瓶 義明	特定研究員	流域圏総合環境質研究センター環境質予見分野
<b>[辞職 (R4.3.31)]</b>		
中田 典秀	講師	流域圏総合環境質研究センター環境質予見分野（神奈川大学准教授へ）
AHMADI Esmaeil	特定研究員	環境システム工学講座大気・熱環境工学分野（ノルウェー科学技術大学博士研究員へ）
<b>[昇任 (R4.4.1)]</b>		
矢野 順也	准教授	物質環境工学講座環境保全工学分野（同分野助教より）
<b>[採用 (R4.4.1)]</b>		
TAN SHIH WEI	特定研究員	環境システム工学講座水環境工学分野（都市環境工学専攻博士後期課程より）
原田 浩希	特定准教授	脱炭素工学研究講座（産学共通講座）（日立造船㈱環境事業本部開発センターグループ長より）
OLESZEK, Sylwia Izabela	特定助教	脱炭素工学研究講座（産学共同講座）（京都大学大学院工学研究科特定研究員より）
<b>[辞職 (R4.4.30)]</b>		
ZHAO, Bo	特定助教	流域圏総合環境質研究センター（河海大学環境学院准教授へ）
<b>[採用 (R4.5.1)]</b>		
林 東範	特定研究員	流域圏総合環境質研究センター（龍仁市政研究院研究員より）
<b>[採用 (R4.9.1)]</b>		
本間 亮介	特定研究員	環境デザイン工学講座（流域圏総合環境質研究センター環境質管理分野研究員より）
<b>地球系事務室</b>		
<b>[辞職 (R4.3.31)]</b>		
大槻 温子	主任	桂地区（工学研究科）教務課（教務掛（地球工学科））
<b>[配置換え (R4.4.1)]</b>		
金木 朋子	主任	桂地区（工学研究科）教務課主任（Cクラスター事務区教務掛）法学研究科掛長（公共政策大学院掛）へ
小原井洸香	事務職員	桂地区（工学研究科）教務課（Cクラスター事務区教務掛）教育推進・学生支援部国際教育交流課（企画・管理掛）より
<b>[辞職 (R4.4.19)]</b>		
楠見 智加	事務職員	地球工学科事務室
<b>[採用 (R4.4.25)]</b>		
坂口 律子	事務職員	地球工学科事務室
<b>[採用 (R4.10.1)]</b>		
小西 孝則	事務職員	地球工学科事務室
<b>[配置換え (R4.10.1)]</b>		
徳田 美紀	主任	桂地区（工学研究科）総務課（Cクラスター事務区庶務掛）（総合博物館主任（事務掛）より）

## (3) 学位授与 (令和3年11月24日～令和4年9月26日)

専攻名	学位用氏名	学位種別名	論文題目	学位授与年月日
社会基盤工学専攻	Zhou Xin	課程	Structural Performance Evaluation of Actual Bridges by means of Modal Parameter-based FE Model Updating	R4.3.23
社会基盤工学専攻	菅原 快斗	課程	不飽和浸透流の解析手法と降雨流出モデルへの応用	R4.3.23
社会基盤工学専攻	谷川 陸	課程	眺望都市・京都における風致施策の萌芽と発展に関する歴史的研究	R4.3.23
社会基盤工学専攻	AULIA FEBIANDA ANWAR TINUMBANG	課程	Evaluation and improvement of runoff generation schemes in land surface models for long-term streamflow simulations	R4.3.23
社会基盤工学専攻	坪倉 佑太	課程	大気中の飛来塩分量の評価手法と構造物への付着量推定に関する研究	R4.3.23
社会基盤工学専攻	左藤 眞市	課程	コンクリート環境下の鉄筋腐食の特徴に基づく保護性さびの形成とその性質を利用した維持管理に関する研究	R4.3.23
社会基盤工学専攻	福井 信気	課程	Subgrid-scale Modeling of Tsunami and Storm Surge Inundation in Coastal Urban Area	R4.3.23
社会基盤工学専攻	中内 和	課程	下北沢の商業系街路空間を巡る地域的ルールの意味と形成に関する研究	R4.3.23
社会基盤工学専攻	STEVEN LY	課程	IMPACTS OF CLIMATE CHANGE AND HYDROPOWER DAMS ON FLOW REGIMES AND FLOOD INUNDATION IN THE MEKONG RIVER BASIN	R4.9.26
社会基盤工学専攻	Kim Hwayeon	課程	Development of Quantitative Risk Prediction Method of the Guerrilla Heavy Rainfall using Polarimetric Radars and its Application for the Flash Flood Guidance	R4.9.26
社会基盤工学専攻	Fauziana Ahmad	課程	Investigation of Transition Signals from Single-Cell to Multicell Thunderstorms based on Vertical Vorticity and Polarimetric Structure Analysis using Polarimetric Doppler Radar Observation	R4.9.26
社会基盤工学専攻	曾我 恭匡	課程	杭基礎一体型鋼管集成橋脚の耐震性能評価と実橋への適用に関する研究	R4.9.26
社会基盤工学専攻	筒井 勝治	課程	ラオス国水力発電プロジェクトの少数民族モン族の移転補償に関する研究	R4.9.26
社会基盤工学専攻	岩本 武範	課程	中心市街地への来訪と公共交通利用の促進におけるポイントインセンティブの有効性に関する実証研究	R4.3.23
社会基盤工学専攻	Ginaldi Ari Nugroho	課程	Comprehensive Study of Cumulus Cloud Initiation Observed by High-Resolution BLR, Doppler Lidar, and Time Lapse Camera using Wavelet Approach	R4.9.26
都市社会工学専攻	塩尻 大也	課程	詳細な土壌水動態に基づく地下水位解析を組み込んだ陸面過程モデルの開発	R3.11.24
都市社会工学専攻	小島 裕之	課程	気候変動及びダム堆砂進行を考慮した多目的ダムの長期的利水機能評価	R4.1.24
都市社会工学専攻	中廣 俊幸	課程	シールドトンネル施工時荷重を受ける沖積粘土地盤の時間依存性挙動がセグメントに及ぼす影響に関する研究	R4.3.23
都市社会工学専攻	Daniel Martin Pearce	課程	Structurally Analysing the Impact of Pedestrian Network Centrality and Path Characteristics on Pedestrian Density in Asian Station Environments	R4.3.23
都市社会工学専攻	Chen Peng-An	課程	Integration of multiple outlets' operation and sediment management options in the reservoir for increasing efficiency of turbidity current venting and clear water storage	R4.3.23
都市社会工学専攻	Bidhya Subedi	課程	Estimation of S-Wave Velocity Structure using Microtremor Observations for Earthquake Response Analysis of the Bangkok Basin, Thailand	R4.3.23
都市社会工学専攻	張 普通	課程	Study on slide-hold-slide process of rock discontinuity considering joint surface roughness and aperture change	R4.3.23
都市社会工学専攻	瀬口 雄一	課程	淀川の高産天然ユ資源量を増加させるための流量条件と河口堰の流況制御に関する研究	R4.5.23
都市社会工学専攻	TZIOUTZIOS Dimitrios	課程	Exploring Natech Risk Communication for Participatory Risk Management: Understanding citizens' communicative behaviour through a comparative study and a serious game	R4.5.23

## [3] 母校だより

専攻名	学位用氏名	学位種別名	論文題目	学位授与年月日
都市社会工学専攻	Nguyen Thi Phuong Mai	論文	Study on Assessment and Adaptation to Saltwater Intrusion under the Impacts of Tide, Sea-Level Rise, Flow and Morphological Changes in the Vietnamese Mekong Delta	R4.5.23
都市社会工学専攻	鎌田 佑太郎	課程	歩行量に着目した都市環境・交通施策が高齢者の医療費に及ぼす影響に関する研究	R4.7.25
都市社会工学専攻	TAN YUQING	課程	Investigation of seismic performance of elastomeric isolation bearings using low-temperature hybrid simulation technique	R4.9.26
都市社会工学専攻	Wu Yuehui	課程	Hub Location Routing Problem for the Design of Intra-City Express Systems	R4.9.26
都市社会工学専攻	伊藤 陽	課程	機械学習を用いた通信地下管路の地震被害推定手法の構築	R4.9.26
都市社会工学専攻	YAO ZIANG	課程	The behavioral impacts of uncertain access to free floating bicycle services	R4.9.26
都市社会工学専攻	栗間 淳	課程	機械学習および飽和土三相系モデルに基づく固体・流体間の相変化を考慮した地盤の液状化解析	R4.9.26
都市社会工学専攻	五十嵐 徹	課程	半地下構造物の耐震設計法に関する基礎的研究	R4.9.26
都市社会工学専攻	飯田 哲也	課程	既設橋梁の高力ボルト残存軸力と軸力管理方法に関する研究	R4.9.26
都市環境工学専攻	Any Juliani	課程	THE EFFECT OF BATIK INDUSTRY ON THE QUALITY OF WATER ENVIRONMENT AND ITS RISK ANALYSIS IN YOGYAKARTA, INDONESIA	R4.5.23
都市環境工学専攻	José Andrés Cordero Solano	課程	Experimental and in silico evaluation of anthropogenic organic compounds and their biodegradation products as precursors of haloacetic acids	R4.3.23
都市環境工学専攻	Chen Minhsuan	課程	Experimental and feasibility study on co-incineration of sewage sludge and municipal solid waste	R4.3.23
都市環境工学専攻	MIAO JIA	課程	Consumption-based estimation of discharge of human-used antibiotics from sewage treatment plants (STPs) to the aquatic environment and risk assessment	R4.3.23
都市環境工学専攻	池端 建吾	課程	ゲノム解析を用いた下水中溶血性細菌の分類に関する研究	R4.3.23
都市環境工学専攻	TAN SHIH WEI	課程	Toxicity Evaluation of Gallium- and Indium-Related Chemicals by Using Freshwater Amphipod ( <i>Hyalella azteca</i> ) and Human Cultured Cells	R4.3.23
都市環境工学専攻	Vo Thi Le Ha	論文	Chemical characterization, source identification and health risk assessment of particulate matter pollutants in indoor environment, as a case study of Hanoi, Vietnam	R4.5.23
都市環境工学専攻	Didi Erwandi Bin Mohamad Haron	論文	HUMAN EXPOSURE AND ENVIRONMENTAL FATE OF ENDOCRINE DISRUPTING CHEMICALS (EDCS) IN KLANG VALLEY, MALAYSIA	R4.7.25
都市環境工学専攻	Riping Huang	課程	Risk Assessment of Endocrine Disrupting Chemicals by Integrating Adverse Outcome Pathway, Machine Learning and Zebrafish Embryo Model: A Case Example of Bisphenol A	R4.9.26
都市環境工学専攻	Wong Yong Jie	課程	Spatiotemporal Assessment of Land Use & Climate Change and Unprecedented COVID-19 Impacts on the Environment in East and Southeast Asia: Case Studies from Malaysia and Taiwan	R4.9.26

**(4) 学生の進学・就職状況**

令和3年度の大学院および学部学生の進学就職状況は次のとおりである。

(尚、各学科専攻長報告の数と若干相違有)

	大学院 (博士)	大学院 (修士)	学部 (4回生)
博士課程	0	5	0
修士課程	0	0	135
研究生・その他（他大学）	20	9	8
国土交通省	0	6	1
環境省	0	1	0
経済産業省	0	1	0
独立行政法人・国立大学法人・ 高等専門学校	8	2	0
都道府県	1	0	1
市町村	0	1	0
各種外郭団体・地方公社	0	2	0
道路	0	7	0
電気・ガス・水道	0	9	0
鉄道・航空	0	9	0
建設会社	1	21	3
鉄鋼・鉄構・機械・電気・電子	0	18	0
コンサルタント	1	19	0
銀行・商社・証券・保険	0	8	1
不動産	0	5	1
環境産業	0	1	1
シンクタンク	1	3	0
情報通信	0	6	1
サービス業・その他	0	16	5
合計	32	149	157

**(5) 国際コースと留学生**

工学研究科では、博士後期課程への留学希望者の増加に応じて多くの留学生を受け入れてきたが、教育指導は基本的に日本語を用いて行われているため、優秀な学生でも言語の障壁のため本研究科への応募を躊躇することが数多くあった。このような問題に対応するため、平成13年度から平成24年度まで英語のみを使用する博士後期課程総合工学特別コースが実施された。さらに、社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻では修士課程を対象とする国際コースを平成23年4月から、工学部地球工学科では学部生を対象とする国際コースを平成23年4月から開設している。